

☆★☆☆青年新規就農者ネットワーク 「一農ネット便り」 ☆★☆☆

令和4年1月21日177号 農林水産省経営局就農・女性課

《今号のメニュー》

- 1 Webで便利に！日本公庫資金のネット申込がスタート
- 2 みんなで知ろう、不妊症・不育症のこと

-
- 1 Webで便利に！日本公庫資金のネット申込がスタート
-

1月20日から農林水産省共通申請サービス（eMAFF）を利用した日本公庫資金のオンラインによる融資申込がスタートしました！

対象資金は、自然災害や経営環境の変化等により経営の維持安定が困難になった方を対象とする「農林漁業セーフティネット資金」です。認定新規就農者の方に加えて農業経営開始後3年以内の方もご利用の対象となります。

融資をご検討されている方は、ぜひご自宅のパソコン等からお申し込みください！

※ご利用に当たっては、事前のID取得などが必要です。

▼ID取得の方法など、詳しくはこちらをご覧ください。

<https://e.maff.go.jp/GuestPortal?ec=302&startURL=%2Fs%2F>

▼農林漁業セーフティネット資金の概要

https://www.maff.go.jp/j/saigai/arc/attach/pdf/index_taisaku-1.pdf

上記以外にも資金をご利用いただくための要件等がございます。また、審査の結果により、ご希望に沿えない場合がございます。

◇お問い合わせ先

農林水産省 経営局 金融調整課（担当；野中、駒野）

TEL：03-6744-2165（直通）

-
- 2 みんなで知ろう、不妊症・不育症のこと

わが国では、全国的な少子化が進んでいますが、農村地域の少子化は都市部に比べ高い割合で進行しています。将来予測では、2045年には、存続危惧集落※のうち14歳以下の子供がいない有人集落数が3万集落に増加し、その8割を中山間農業地域が占めるとされています。

農業の発展、地域経済の活性化のためにも、少子化には歯止めをかけたいところ。そのためには、農村地域において夫婦が子育てしやすい環境や、妊娠・出産しやすい支援と周囲の理解が大切です。

※存続危惧集落：集落人口が9人以下で、かつ高齢化率が50%以上の集落

「5.5組に1組」。これは、「実際に不妊の検査や治療を受けたことがある夫婦の数」です。不妊症の検査や治療を受けたことがある方も年々増えており、今や不妊症は、決して珍しいことではありません。

不妊症は誰にも普通に起こりうることです。例えば、不妊治療をしているときには、急な受診などで心身に負担がかかることもあります。

その時、家族や職場など、周囲の人が理解することが支えになります。

○農村地域人口と農業集落の将来予測結果について（農林水産省 HP）

https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/kihyo01/190830_15.html

○みんなで知ろう、不妊症・不育症のこと

<https://ninkatsu-hiroba.mhlw.go.jp/>

○不妊治療に関する政府広報

<https://www.gov-online.go.jp/useful/article/202112/1.html>

◇お問い合わせ先

農林水産省 経営局 就農・女性課 女性活躍推進室

TEL：03-3502-6600（直通）

◆経営局 Facebook「農水省・農業経営者 net」では、農業者の皆様に役立つ情報を発信しています。「いいね！」をし、フォローをお願いいたします。

<https://www.facebook.com/nogyokeiei>

◆メールアドレス等登録情報の変更・削除（農林水産省 HP）

<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/chg.html>

◆農林水産省経営局就農・女性課(TEL:03-3502-6469(内線 5195)) が配信しております。

ご意見・ご感想については、以下メールアドレスまで。

【青年新規就農者ネットワークチーム】 1nou@maff.go.jp